がけ崩れをふまえた急傾斜地（がけ地）の点検のお願い

令和２年２月５日に神奈川県逗子市で道路に隣接する民有地斜面が雨が降っていないにもかかわらず斜面が崩落し、歩道の歩行者が土砂に巻き込まれ死亡するがけ崩れが発生しました。

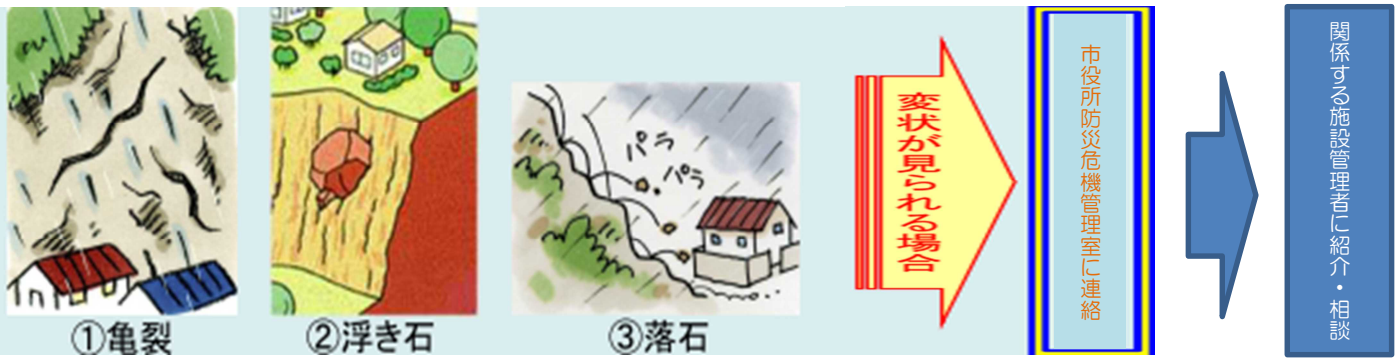
斜面は、風化が進行して無降雨であっても突然崩壊する危険性があるため、急傾斜地（がけ地）の土地所有者は、下記ポイントを参考に斜面の自主点検をお願いします。

※風化：地表の岩石が気温、雨水などの作用により次第に破壊され土や砂になること

◆斜面点検時のポイント

点検時に、①斜面に亀裂や、②浮き石、③落石がある場合は、風化の進行により斜面が不安定になっている可能性があるため注意が必要です。

※植生が貧弱な場合には、風化が進みやすいため、特に注意が必要です。



【がけ崩れの特徴】

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然、崩れ落ちる現象。崩れ落ちるまでの時間がごく短いため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。

◆主な前兆現象

がけにひび割れができる
小石がパラパラと落ちてくる
がけから水が湧き出る
湧き水が止まる・濁る
地鳴りがする

問い合わせ先　総務課　防災機危機管理室　0974-22-1001